

2023年3月7日

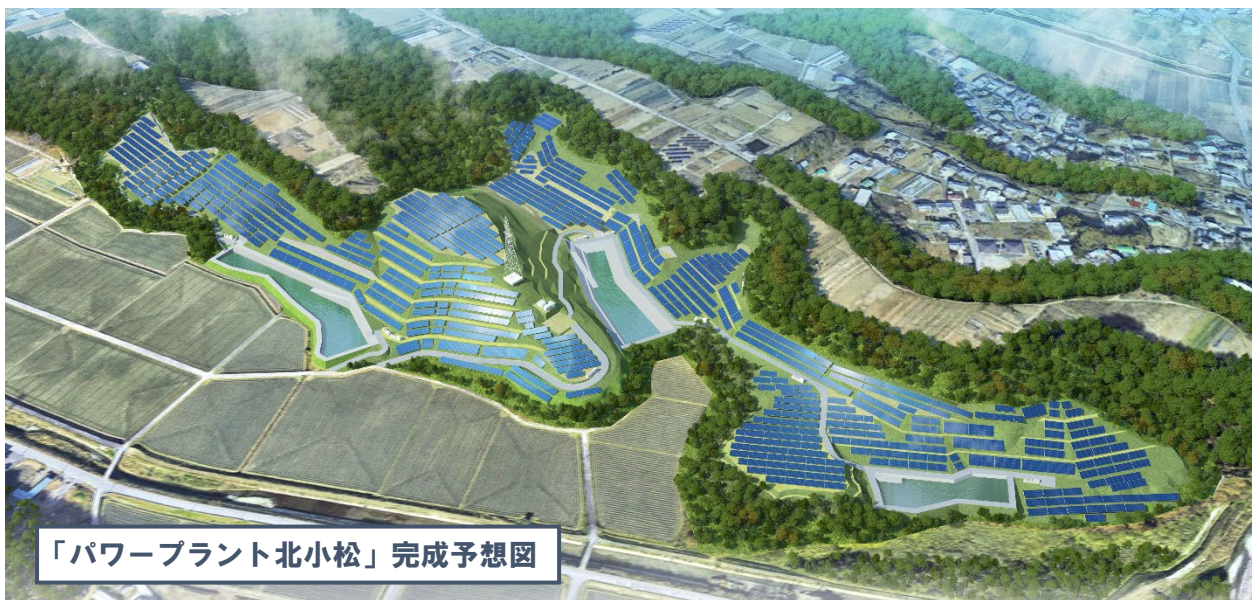
## 三重県四日市市のメガソーラー「パワープラント北小松」が建設開始

日本国土開発株式会社(東京都港区赤坂4-9-9 代表取締役社長:朝倉健夫)と、株式会社鈴鹿グループ(三重県鈴鹿市高岡町654-1 代表取締役:瀬古 恭裕)は、三重県四日市市北小松町において合同で新たに建設する太陽光発電所「パワープラント北小松」の起工式および安全祈願祭を本年3月7日に執り行い、建設を開始しました。

パワープラント北小松は、2024年夏頃の稼働を目指しており、約19.5ヘクタールの丘陵地に約1万7,500枚の太陽光パネルを設置する予定です。同発電所のパネル容量は10.5メガワット(MW)で、一般世帯換算で約4,200世帯分の発電量を有し、年間で約6,700トンのCO<sub>2</sub>排出量削減が期待できます。

鈴鹿グループは、パワープラント北小松の施設運営権取得から事業用地の取りまとめを行っており、竣工後は保守・メンテナンス業務や資産管理業務を行う予定です。一方、日本国土開発は、これまで全国に12カ所のメガソーラーの開発実績があり、培ってきたノウハウや知見を用いて円滑な事業運営を進めていきます。

日本国土開発は、現在進行中の「中期経営計画2024」で、立ち向かうべき社会課題に「気候変動問題」を掲げ、自社運営による再生可能エネルギー事業においてパネル容量150MWを目指しています。同事業を通じて、脱炭素社会の実現に邁進していきます。



### 施設概要

事業主体: 合同会社地域共生発電所(SPC)  
事業区域面積: 約19.5ヘクタール  
パネル枚数: 約17,500枚  
施工者: (株)鈴鹿  
CO<sub>2</sub>排出削減量: 約6,700トン

事業地: 三重県四日市市北小松町字丁田967-1他  
発電出力: 10.5メガワット  
売電先: 中部電力ミライズ(株)  
出資比率: 日本国土開発95%、鈴鹿グループ5%  
一般世帯換算: 約4,200世帯



## <参考資料>

### ◆起工式および安全祈願祭について

3月7日の起工式および安全祈願祭には、地元区の方々に出席いただきました。



起工式および安全祈願祭の様相(写真左は当社社長の朝倉健夫)

### ◆鈴鹿グループについて

鈴鹿グループは、1998年に鈴鹿市の電気工事会社として設立し、現在はグループとして、電気設備工事、機械設備工事、開発設計、土木工事、建設業並びに電気保安管理業、不動産事業、アセットマネジメント業、農業事業、自動制御盤製造業等を営んでいます。2012年に再生エネルギー事業に参入し、太陽光発電所の工事を行う中、自社でも太陽光発電事業を手掛けています。

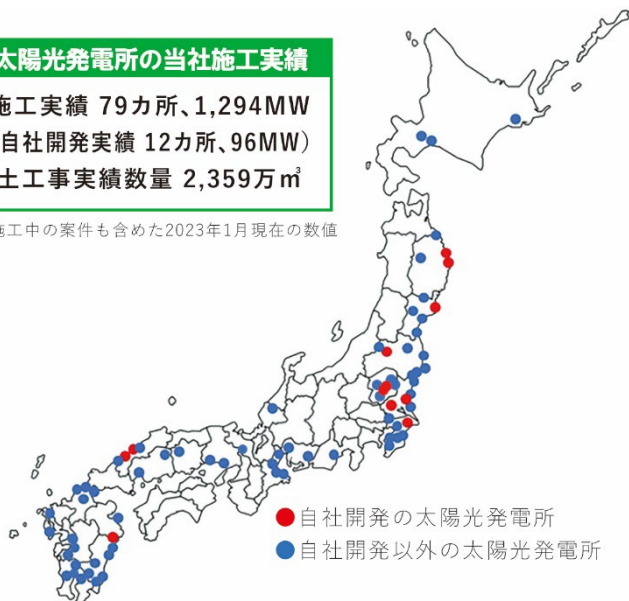
### ◆日本国土開発の太陽光発電事業について

日本国土開発グループは、全国で2,300万<sup>m</sup>を超える太陽光発電に関連する土工事を手掛けており、施工累計実績は約1,300MWにおよび、我が国の再生可能エネルギーの拡大に大きく貢献してきました。

#### 太陽光発電所の当社施工実績

施工実績 79カ所、1,294MW  
(自社開発実績 12カ所、96MW)  
土工事実績数量 2,359万<sup>m</sup>

※施工中の案件も含めた2023年1月現在の数値



● 自社開発の太陽光発電所  
● 自社開発以外の太陽光発電所

2013年から自社開発による事業参入を行い、EPC・発電事業者の両面で着実に実績・ノウハウを蓄積しており、自社開発実績は現在施工中の案件を含めて累計で96MWに達します。

自社開発事業として保有している太陽光発電所は、将来の利益創出のための安定した投資財源にもなり得ることも強みです。前期に一部売却して投資財源を確保しましたが、2023年4月には新たに12.6MW規模の「延岡くじら池太陽光発電所」が売電開始予定で、今回の「パワープラント北小松」を合わせると全国で約88MW規模の太陽光発電所の事業運営に携わることになります。

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 戦略本部戦略部 (広報担当) 電話 03-5410-5601